けやき

心も体も元気な岡村っ子

おもいやりをもち、
かがやく自分を求めて、
むちゅうになって共に学び
みらいを創っていく子

横浜市立岡村小学校・学校だより R8.7.16 https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/okamura/

夏休み

校長　　鴨野　幸規

いよいよ、子どもたちが楽しみにしてきた夏休みが始まります。夏休みの過ごし方も、時代とともに大きく変化しています。昭和と令和の小学生の夏休みの過ごし方を比較してみました。

	昭和の小学生	令和の小学生
遊び	外遊び中心 （虫取り、川遊び、公園での遊び）	室内遊びも多い （ゲーム、動画視聴、オンライン交流）
友達	毎日のように近所の友達と遊ぶ	習い事や家庭の事情で集う機会が減少
学習	宿題プリント、絵日記、自由研究	塾の夏季講習、オンライン教材の活用
地域	子ども会の催しや盆踊りが盛ん	地域行事への参加機会が減少
安全	子どもが比較的自由に行動	防犯・熱中症対策など注意が必要
体験	自然体験が豊富	デジタル体験やイベント参加が充実
生活リズム	家族や地域に合わせた生活	個人の生活スタイルが多様化

昭和と令和を比較し、「どちらがよい」ということではありません。令和には令和のよさがあり、昭和には昭和のよさがあったのではないでしょうか。

岡村っ子たちには、この夏休み中、デジタルとリアルのバランスを取りながら、読書や学習はもちろん、家庭でのお手伝い、地域活動への参加、自然とのふれあいなど、夏休みにしかできない多様な体験を積み重ねてほしいと思います。

一方で、楽しい夏休みを安全に過ごすためには、規則正しい生活が欠かせません。「早寝・早起き・朝ご飯」を基本に、生活リズムを整えることが心と体の健康維持につながります。また、暑い日が続きますので、いつも水分補給や適度な休息を心がけ、熱中症予防にも十分注意してください。

さらに、交通事故や水の事故、不審者への対応、インターネットや SNS の適切な利用についても、ご家庭で話し合う機会を設けていただければ幸いです。子どもたち一人ひとりの安全を守るためには、学校と家庭、地域が連携して見守ることが大切です。

一日一日を大切に過ごし、８月２７日には、さらに成長した元気な姿で登校してくれることを楽しみにしています。ご家庭の皆様のご理解とご協力をお願いするとともに、健康で安全な夏休みとなりますよう心より願っております。